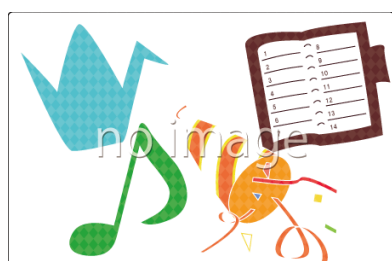


数字当てレク

2人ペアになって行う数字当てです。ペアと協力することで脳トレ効果がアップします。



ジャンル 認知症予防 介護予防

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度2 所要時間 15～25分

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 2人～

道具 (一人当たり予算0円)

紙とペン

注意点・追加ルール

期待効果 片方が閃いたことを共有することで、一人で閃かないよりも脳に良い影響を与えます。

1

1 チームは2人以上であれば何人でもかまいません。
0～9の数字をゲーム毎に3～6桁決めて行います。同じ数字は使えません。
事前に何桁するか職員さんが参加人数によって設定します。

2

例えばAチームは1 2 4 3、Bチームは6 7 5 4と4桁で行ったとします。
ジャンケンで順番を決め、Aチームが先行になりました。

3

Aチームは4桁の数字を適当に答えます。
「0 1 2 3」Bチームの数字と何も合っていないので「ガーター」とBチームは言います。
ガーターの場合、0 1 2 3が入っていないことがわかるので、以降は選択肢から除外される。

4

「1 2 3 4」最後の4が一致しているので「1ストライク」
この場合、どの数字がストライクかわからないので、更に推理をする必要がある。
「0 9 4 2」4が入っているが位置が違うので「1スペア」
この場合も、どの数字がスペアかわからないので、推理が必要。

5

「6754」全て一致したら「ターキー」となりAチームの勝利になります。
他にも「6745」は2スペア2ストライクなのでどこか2つを入れ替えばいいことがわかる。

これを交互に宣言して先に相手の数字を当てたチームの勝ちとなる。

数字を増やすと難易度が上がる。誰かが閃くとグッと勝利が近づくのだ。